



# 三笠保育園

社会福祉法人 アタラシイカタチ

---

## 第1回三者協議会資料

## ごあいさつ

三笠保育園の保護者の皆様はじめまして、この度、三笠保育園の民間移管に伴い、運営候補法人に選定いただきました社会福祉法人アタラシイカタチ（旧社会福祉法人郡山双葉会） 理事長 生田宏史です。

保護者の皆様におかれましては、平成25年7月に「奈良市幼保再編実施計画」発表から、今日に至るまで園の存続や民間移管と日々不安を抱えながらの子育ては、心配も多かったと存じます。

三笠保育園は、JR奈良駅と近鉄奈良駅の中間地点にあり、奈良市に暮らし近隣や大阪や京都に就業する子育て中の保護者にとっては、保育園として利便性も含めてとても魅力の高い場所に立地しています。近年は少子化もあり、園児数は減少傾向ですが奈良市は共働き子育てしやすい街として関西地区や全国でも注目されている街であり、今後のニーズの高まりに対して当法人がこれまで培ってきた保育園・こども園運営の知識や経験、奈良市や大和郡山市での公立保育園や公立幼稚園の民間移管の実績、働き手である保育士の確保や働きやすい職場作りの経験が活かせる園だと考えています。

また、三笠保育園は市立保育園として開園してから72年の長い歴史の中で、地域と築き上げてきた信頼関係は、私たちが理想とする保育園の形を体現しており、これまで培ってきた知識や経験を活かして、三笠保育園の教育・保育活動を更に充実させることで、子ども達の笑い声と地域の人々の笑顔が混ざり合い、現在園に通っている子ども達が、結婚し、子どもを授かり、将来親子で園に戻って来れるように、地域に取ってかけがえのない子育て環境として、三笠保育園の教育・保育を継承し、守って行きたいと考えます。

皆様とは、法人責任者として深く関わらせていただき、三笠保育園のこれまでの保育内容をしっかりと引継ぎ、民間移管に対して不安を持たれている保護者や関係者の方々に安心いただける様に丁寧な運営を心掛け、一人ひとりの子どもの主体性を大切に、三笠保育園の発展した新しい形を保護者や関係者の方々と共に、作り上げたいと思います。

理事長 生田 宏史



# アタラシイカタチこれまでの歩み

Year	Event
1980年	社会福祉法人郡山双葉会設立
1981年	やまと保育園を大和郡山市筒井町に定員90名で開園
2001年	やまと保育園分園を大和郡山市今国府町に定員29名で開園
2004年	やまと保育園分園を拠点化により、ふたば保育園を定員90名で開園
2008年	やまと保育園を改築し定員120名に変更
2010年	はぐみ保育園を大和郡山市冠山町に定員90名で開園
2016年	ふたば保育園を改築し定員140名に変更
2017年	やまと保育園を幼保連携型認定こども園に移行し定員を135名に変更
2019年	ふたば保育園を幼保連携型認定こども園に移行し定員を149名に変更
	やまと保育園分園を大和郡山市高田町に定員45名で開園し、やまと保育園からやまとこども園に名称変更
2020年	奈良市立鶴舞こども園を奈良市から民間移管を受けて、公私連携幼保連携型認定こども園鶴舞やまとこども園を奈良市鶴舞東町に定員175名で開園
	2020年4月 昭和保育園を大和郡山市社会福祉協議会から民間移管を受けて、昭和こども園を大和郡山市馬司町に定員75名で開園
2021年	2021年4月 はぐみ保育園を幼保連携型認定こども園に変更し定員を99名に変更
2023年	2023年3月 奈良市立西大寺北幼稚園の移管先候補法人に選定
	2023年4月 やまとこども園分園を拠点化により、やまとこども園mimiを定員65名で開園



# アタラシイカタチこれまでの歩み

Year	Event
2023年	2023年12月 奈良市地域子育て支援拠点事業実施団体に選定される
2024年	2024年2月 奈良市立三笠保育園の移管先候補法人に選定
	2024年3月 橿原市公私連携幼保連携型認定こども園（真菅北・耳成西校区）整備・運営事業者に選定
	2024年4月 奈良市立西大寺北幼稚園を奈良市から民間移管を受けて、幼保連携型認定こども園西大寺北こども園を奈良市西大寺赤田町に定員59名で開園
	2024年4月 奈良市地域子育て支援拠点事業「子育て広場 鶴舞やまこども園」を開設
	法人名を社会福祉法人郡山双葉会から社会福祉法人アタラシイカタチに変更する



# 社会福祉法人 アタラシイカタチ

---

理事長 生田 宏史 やまとこども園園長  
理事 阪本 博 社会福祉法人事務長  
理事 廣野 隆信 元県職員  
理事 脇田 哲 社会保険労務士  
理事 北條 正崇 弁護士  
理事 幸田 欣也 やまとこども園mimi園長  
理事 生田 治 やまとこども園chouchou副園長  
監事 藤崎 隆明 社会福祉法人理事長  
監事 藤田 徹 税理士  
会計監査人 福井 信造 公認会計士

運営施設 やまとこども園、やまとこども園mimi、やまとこども園chouchou、やまとこども園hug、  
昭和やまとこども園、鶴舞やまとこども園、西大寺北こども園

職員数 204名

# 三笠保育園の運営に当たっての基本理念

現在の子ども達の取り巻く環境は、少子化の進行にともない、子どもが互いに育ち合い人格形成の基礎を培う機会が縮小する傾向にあります。保育園では、0歳から就学前の子どもを受入れることにより、切れ目のない集団生活の機会の提供と、乳幼児期から安定した情緒の下で発達に必要な体験を重ね、園児が主体的に活動できる生活を過ごし、家庭や地域を含めた園児の生活全体が豊かなものにならなければなりません。

公私連携の仕組みを取り入れた三笠保育園の民間移管については、保護者の不安の解消に努め、奈良市立こども園カリキュラム「バンビーノプラン」を基に市立保育園として長年培ってきた「心身ともに健康で、たくましく生きる子どもの育成」の教育・保育理念を受け継ぎ、保育園・保護者・奈良市が互いに子どもの最善の利益を優先し、信頼関係を深め協力して取り組むことを大切にします。

また、三笠保育園を初めて訪問させていただいた時に感じた事は、JR奈良駅と近鉄奈良駅の間地点にあり、奈良市の観光や経済を支える上で重要な保育施設と感じました。それに伴い様々な就業形態の保護者やいろいろな背景をもつ保護者とその子ども達が利用する事から、保護者の就労環境に応じたきめ細かな支援や人権保育の推進が必要です。一方で都市部の保育施設でよくある問題の園庭や園児送迎用駐車場や職員駐車場の安定確保が喫緊の課題でもあります。その様な都市部の保育園でありながら、子ども達には笑顔が溢れ、元気に活動する子ども達を見て、心も和み、この地で教育・保育をやってみたいという気持ちになりました。

移管後の園運営については、保護者アンケートの結果をもとに園運営を継承し、何よりも子ども一人ひとりをしっかりと受け止め、安心感の中で、伸び伸びと遊び五感を使って、心揺さぶる経験や遊びの中から心の豊かさや命の大切さなどを感じるように、教育・保育環境を整えることを大切にします。また、これまでに培った経験を活かし、保護者の方々に寄り添い、子どもも大人も「心身ともに健康で、たくましく生きる子どもの育成」を教育・保育理念を基に、保護者や地域の方々と共に、より発展した新しい形の保育園を作り上げていきたいと考えます。



# 引継ぎ予定者の紹介



園長予定者 生田 宏史

	施設長	施設長を除く幹部職員	その他保育教諭等
こども園	有（ 3年）	有（ 4年）	有（ 年）
保育所	有（12年）	有（ 年）	有（ 年）



主任保育士予定者 猪奥 桂子

	施設長	施設長を除く幹部職員	その他保育教諭等
こども園	有（ 年）	有（ 0.1年）	有（9.11年）
保育所	有（ 年）	有（ 年）	有（2.4年）
幼稚園	有（ 年）	有（ 年）	有（2.8年）

# 開園日と開園時間

(1) 開園日・開園時間			
年間開園日数		293日 ※ 休園日数 72日	
休園日の設定		日曜日・国民の祝日に関する法律に規定する休日・年末年始（12月29日～翌年1月3日）	
開園時間 保育時間	平日	最大開園時間	7時00分～19時00分
		保育時間（2・3号短時間）	8時30分～16時30分
		保育時間（2・3号標準時間）	7時30分～18時30分
	土曜日	最大開園時間	7時30分～18時30分
		保育時間（2・3号短時間）	8時30分～16時30分
		保育時間（2・3号標準時間）	7時30分～18時30分
	日曜日 祝日	開園の有無	無
		最大開園時間	—
		保育時間（2・3号）	—



# 特別保育事業

(2) 特別保育事業	
2・3号認定子どもに対する延長保育事業	<ul style="list-style-type: none"><li>• 実施時間 短時間： (朝) 7時00分～8時30分 (夕) 16時30分～19時00分 標準時間： (朝) 7時00分～7時30分 (夕) 18時30分～19時00分</li><li>• 料金設定 (朝) 100円(1時間毎) ①7時00分～7時30分 ②7時30分～8時30分 (夕) 100円(1時間毎) ③16時30分～17時30分 ④17時30分～18時30分 ⑤18時30分～19時00分  ※利用時間の区切りはありませんが、①～⑤の利用毎に100円必要となります。</li><li>• 職員配置 延長保育担当(常勤・非常勤)の職員を配置</li></ul>

# 保育料以外の費用負担

保育料以外の実費徴収については、三者協議会を通じて園児の教育・保育に必要な実費について、相談させていただき決定させていただきたいと考えています。なお、上乗せ徴収並びに実費徴収については、保育の質を確保した上で、保護者の過度な負担にならないように慎重に検討し、保護者の理解を得たうえで実施することとします。

給食費については、現在の三笠保育園の基準額と同額とし、当面の間は保護者の新たな負担を求めない形で給食内容の充実を行います。

## 【実費徴収】

- ・給食費 月額5,940円（日額270円×22日分）内訳：主食費20円＋副食費250円

※土曜日の保育希望者については、別途日額270円を追加で徴収します。なお、日割り徴収は基本的には行わない予定です。

・午睡用コットシートは、現状と同様に保護者全員に用意いただきます。移管後は保護者の負担軽減策として、シートのリース使用が可能となるよう提案する予定です。

・新学期用品以外の遠足代、写真代、卒園アルバム等の都度徴収する費用については、基本的には移管前の項目に変更はありませんが、費用は納入価格や実費価格により変動する場合があります。今後引継ぎを通して明らかになる項目や費用は分かり次第お知らせする予定です。（希望者に限る費用も有り）

※保育料以外の保護者負担については、三者協議会において、保護者の意見に十分配慮して最終決定します。



## 保育料以外の費用負担（新学期用品）

乳児組			
ふとふとマーカー（3種）	435円	かご	110円
粘土	410円	けんこう手帳	170円
粘土ケース	270円	雑費袋	50円
粘土板	430円	カラー帽子	920円
のり	205円	氏名印	220円
自由画帳	230円		

幼児組			
はさみ	480円	色えんぴつ	800円
粘土	410円	ラッシュンペン	810円
粘土ベラ	255円	固形えのぐ	830円
粘土ケース	270円	かご	110円
粘土板	430円	雑費袋	50円
のり	205円	カラー帽子	920円
自由画帳	230円	氏名印	220円
クレパス12色	490円	けんこう手帳	170円
ペンカラー	530円	出席ノート	410円

左表は、奈良市私立保育所指定法人募集「三笠保育園について」より抜粋しており、今後、納入価格の変動により金額が変更される場合があります。

# 給食内容

(注) 法人内の各園による特色ある活動や内容を例示しています。三笠保育園でも可能な場合は検討を行います。

保育園に通うすべての子ども達に対して給食を提供することで、一体感のある保育を進め、食育についての取組みも切れ目なく行えるようにします。食事のマナーや箸の使い方、給食当番活動を通して、正しい道具の使い方を覚えることやルールを守ったり、自らルールを作ったりすることで、友達との共感関係を深めます。

子ども達の誕生日には、主食をおにぎりで提供し、誕生日の特別感を演出し、クラス全員でお祝いをします。その他、子どもの日やひな祭り、お餅つき、ハロウィン、節分などの行事食の実施や、毎月1回子ども達に食べたいメニューのアンケートを取り、そのメニューの中から人気メニューが献立に登場する企画は、子ども達が楽しみにしています。

子ども達にとって給食は元気いっぱい活動した後の十分な栄養補給と、給食を通して食の大切さや楽しさを体験し、子ども同士のコミュニケーションを図る大切な時間と考えて、日々工夫と質の高い給食の提供に努めています。

野菜たっぷり素材そのものの「味」を感じる給食

こだわり① 国産生野菜をたっぷり使用、素材の本来の美味しさを引出す味付け

「かつお節」と「昆布」からの天然出汁の使用し、素材の本来の美味しさを引出す味付けを心掛けています。また、野菜については可能な限り国産の生野菜を使用することで、野菜本来の味や風味を大切に食の安全に努めています。

こだわり② 専属農家と契約した、子ども達の健康と安全に配慮した安心した食材選び

主食は、専属農家と契約し、れんげ草の力で極力薬を使用しない、奈良県産減農米の「れんげ米」を提供しています。

こだわり③ 栄養価が高く、優しい味の手作りおやつを提供し、心と身体の栄養を満たします。



# 私たちの食育活動

(注) 法人内の各園による特色ある活動を例示しています。三笠保育園でも可能な場合は検討を行います。

食育についての取組みは、子どもが生活と遊びの中で、意欲を持って食に関わる体験を積み重ね、食べる楽しみや命を大切にす  
る心を育てます。

専属の栄養士が栄養のバランスや体調と発達に合わせた離乳食を工夫するなど、こども達の発達の段階に配慮して独自の献立を  
作成し、旬の野菜や色とりどりの様々な食材を使用することにより食べる楽しさを学べる工夫を凝らし食育計画に基づいた  
「食」への関心を高めます。

給食については、栄養価のバランスのとれた質の高いメニューの提供や新鮮で安全な食材を使用し、調理担当者や給食室の保健  
衛生の徹底、アレルギー児への除去食対応等、給食を通しての教育・保育活動の充実に努めています。

## こだわり① 農作物の栽培と収穫活動

園庭の畑などで、子どもたちが大根、玉葱、とうもろこし、さつまいもをはじめ、様々な野菜を栽培。毎日の水やりや観察で野  
菜への愛着がわき、収穫物を持ち帰ることで、家庭で食事について話すきっかけ作りにもなっています。

## こだわり② クッキング活動

自分たちで育てた農作物を包丁やフライパンなどの調理器具を使用し、自ら調理することで「もっと食べたい」という意欲が沸  
いてくることで、苦手な食材を克服する子どもの姿も見られます。

## こだわり③ 伝統的な食文化にふれる

地域の高齢者や栄養士の協力を得て、餅つき、節分、雛祭りなど日本独自の伝統行事に触れながら、食文化の継承も大切にしてい  
ます。最近では、ハロウィンやクリスマスなどを通して、世界の食文化にも触れることで、食育活動も子どもたちの大切な思  
い出になっています。



# 私たちの食育活動

## わたしたちの食育活動

子どもたちが食べることに興味を持てるよう、郡山双葉会のすべてのこども園で食育を推進。取り組みを通して、季節感や命の尊さを実感し、協調性も育まれています。



### 農作物の栽培・収穫活動

農圃やまども園では、園庭の畑などで子どもたちが大根やとうもろこし、オクラ、枝豆をはじめ、さまざまな野菜を栽培。毎日の水やりや観察で野菜への愛着がわき、収穫物を持ち帰ることで、家庭で食事について話さきっかけづくりも行っています。



### クッキング体験

自分たちで育てたほうれん草を包丁で切り、フライパンにバター炒めを作ったはぐきども園の5歳児たち。苦手だった子から「もつと食べたい」という声があり、保護者からは「子どもがほうれん草の特徴を覚えてくれる」との感想が寄せられました。



### 伝統的な食文化にふれる

地域の高齢者の協力を得て年末に実施する、やまども園の恒例行事。餅つきの由来や農具の名前を覚えてもらったあと、蒸しあがった熱々のもち米のにおいや感触を知り、大人による餅つきを応援。思い出しに残るよう、子どもも持を持って帰っています。

## 「安心・安全なおいしい給食をおなかいっぱい食べてほしくて」

給食に用いる野菜は品質のよいものを厳選し、冷凍野菜は極力使いません。露節や昆布から取った天然だしにもこだわり、自然の旨みを感じられる栄養満点の料理を提供。給食を通して、おいしくて体にやさしいごはんをしっかりと食べることの大切を伝えています。

(郡山双葉会 理事長 生田宏史)

わが子の健康を考えたら、大変でもこの農法しかなかった。ファーム西川がれんげ米の栽培をはじめたのは約12年前。当時、小さなお子さんを抱えていた奥さまの西川佳子さんは「わが子の口から入るものは、体にやさしい食べ物以外考えられなかった」と振り返ります。

秋の稲刈り後に稲わらをすき込んでれんげの種まきをし、4月中旬から5月上旬に満開。花が散ったらさき込み、田植えと進め、夏に有機100%の肥料を散布します。「減農薬栽培にこだわっているため、虫がつかないように、夏場の草刈りにも力を注ぎなければなりません。れんげ畑を作るの間はかかりますが、こども園での採用はとてもうれしい。今から子どもたちの反応が楽しみです」と、ご主人の利幸さん。奈良県から環境にやさしい農業に取り組み農業者としてエコファーマーの認定も受けているファーム西川。「子どもたちの健やかな成長を願い、私たちが自信を持ってお届けします」と、西川夫妻は心強いメッセージを送ってくれました。保護者のみならず、ぜひ期待ください。



### ファーム西川

奈良県橿原市観音寺町 265-2  
営業時間 11時頃～夕刻  
不定休  
<https://www.farm-nishikawa.com>

- 1 リピートする人が増え、「ますます手が抜けない」と真摯に作業に取り組む利幸さん。
- 2 ファーム西川の田んぼは、ほかの農家が散布する農薬などの影響を受けにくい場所にあります。
- 3 れんげ米の品種は奈良の風土に合うヒビカリ。化学肥料不使用、減農薬の特別栽培米です。
- 4 一面の花畑は写真スポットにも。通りすがりの人との温かい会話も生まれているそう。

## 愛らしいれんげの花畑が栄養たっぷりの土へと導く

今や「懐かしい」「珍しい」との声も聞かれるれんげ畑。空気中の窒素を取り込んで根に貯める性質があるれんげを肥料にすると、土壌が生まれ変わり稲が元気に育ちます。



## れんげの田んぼから子どもたちへ



もみを完実させるための種肥の用具を普及し体験をした生田理事長。有機肥料は化学肥料よりも散布量が多く、暑い時期は田んぼを繰り返し歩くのはなかなかハードです。



西川利幸さんと佳子さんご夫妻。農園内のお店では、奈良のブランドいちご・古郡華とあすカルビーを用いた自家製ジェラートを一年中販売し、人気を集めています。

体にも環境にもやさしいもっちり甘いお米に魅せられて、もっちり栽培に夫婦で取り組む「ファーム西川」。郡山双葉会の生田理事長が「いちごのおいしさに惹かれ、農園内のお店に通うようになったある日、こども園で栽培されたれんげ米」に出会います。れんげ米とはれんげ緑肥を使う昔ながらの農法で栽培されたお米のこと。化学肥料を必要としません。「もっちりしていて甘みがあっておいしい。安心・安全で環境にも配慮したれんげ米を、うちの園に通う子どもたちにも食べてもらいたい」と生田理事長のこの思いに「ファーム西川の西川夫妻はこの秋から郡山双葉会用の田んぼの土づくりがスタートし、来年2023年秋に収穫する新米からこども園の給食に登場する予定です。」



# 三笠保育園園庭拡張工事及び駐車場確保の計画

## ① 園庭拡張工事の実施

### 【整備時期】

令和7年度のプール活動を実施後、約3～4ヵ月程度を予定。

### 【整備内容】

既存の屋外プールを解体し、園庭拡張工事を行います。子ども達が屋外で活動できる場所を広く確保し、現状ある体育館と一体的に利用する事により、園児の運動面や体力の向上を図ります。施設整備の財源については、法人の自己資金を活用します。これにより園庭面積が現状より整備後約105（㎡）大きくなります。また、屋外プール解体後は、組み立て式のプールを採用し、夏場はプールを組み立てる事により、プール活動を行います。

### 【整備場所】

施設北側屋外プール及び北側園庭

## ① 第2駐車場の確保

三笠保育園の民間への移管に伴い、将来的な園児や職員の増加に対応出来るように、現在使用している市有地の駐車場と合わせて利用できる第2駐車場の確保を早期に目指し、保護者の方が日々ゆとりを持って送迎出来るように配慮し、子どもの様子を担当保育士に伝える時間の確保や保育士からの助言や相談が出来るようにします。

※場所や時期は、現状未定となります。



ア・タ・ラ・シ・イ  
カ・タ・チ



アタラシイカタチとは  
いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも  
新しく変化を重ねているものも取り入れること